

平成29年度事業計画・予算が決定

3月6日開催の平成28年度第4回理事会及び平成28年度評議員会の決議の省略(第3回)において、平成29年度の事業計画及び収支予算が承認されました。

◆第4回理事会の決議事項

- 1 平成29年度事業計画及び収支予算の承認について
- 2 会計監査人の報酬について
- 3 平成28年度第3回評議員会の招集について

◆第3回評議員会の決議事項

- 1 平成29年度事業計画及び収支予算案の承認について
- 2 定款の変更について
- 3 会計監査人の選任について
- 4 評議員の選任について
- 5 理事の選任について

以下に事業計画の一部を抜粋して報告します。

平成29年度事業計画

I 重点的な取組方針

- 2016年の訪日外国人数が過去最高の2,000万人を突破し、インバウンドは依然好調を維持しているとともに、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催に向けた観光振興の機運の盛り上がりは、財団事業を効果的に展開する絶好の機会であることを捉え、賛助会員を中心とした観光関連業界のニーズを十分把握し、緊密な連携を図りつつ事業展開していきます。
- 事業の推進においては、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会とその先を見据え、東京の多様な魅力を海外に発信しながら、観光に関する事業者の支援や旅行者の受入環境の充実に向けた取組などを着実に実施していきます。

II 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

- (1) 観光マーケティング事業〈東京都受託事業〉
- (2) 新しいアイコン等を活用した観光PR(新規)〈東京都受託事業〉
新たに作製するアイコン・キャッチフレーズを活用し、東京の魅力を海外に効果的に発信し、訪都旅行者の増大を図ります。
- (3) オリンピック・パラリンピックを契機とした東京観光PR(一部新規)〈東京都受託事業〉
- (4) 平昌冬季五輪を活用したPR(新規)〈東京都受託事業〉
平昌冬季五輪の注目度を活用し、現地において東京ブランドを前面に押し出したPRを行い、東京ブランドの認知を高め、訪都旅行者の更なる拡大を図ります。
- (5) 欧米豪を中心とした富裕者層向けプロモーション(新規)〈東京都受託事業〉

より多くの観光消費が期待できる富裕層を対象に、欧米豪を中心とした旅行博・商談会等への出展、富裕層マーケティング、東京観光レップを活用したプロモーション活動を行い、訪都旅

行者数及び観光消費額の増加を図ります。

- (6) 東京観光レップの運営〈東京都受託事業〉
 - (7) 民間事業者と連携した旅行者誘致事業(一部新規)〈東京都負担金事業〉
 - (ア) 旅行博等への出展等
 - (イ) 民間企業とのジョイントプロモーション
 - (ウ) パンフレットの制作
 - (エ) 東京ニュースの配信
 - (オ) 東京観光レップ主催、旅行事業者向けセミナーの実施
 - (カ) 海外メディア招聘
 - (キ) 海外旅行事業者招聘
 - (8) 有望市場におけるプロモーション事業(一部新規)〈東京都受託事業〉
 - (ア) ロシアにおけるプロモーション(新規)
 - (イ) フィリピン及びインドにおけるプロモーション(一部新規)
 - (9) 東京から日本の魅力新発見事業(一部新規)〈東京都負担金事業〉
 - (10) 地方連携参画型広域プロモーション(一部新規)〈東京都受託事業〉
 - (11) 「東京大回廊」を活用した観光振興事業(新規)〈東京都負担金事業〉
東京都心部に一極集中する外国人観光客の受入状況を変え、関東や隣接する各県まで広域的にその効果を拡大させるべき形成された広域関東周遊ルート「東京圏大回廊」を活用し、当該ルート等の認知・普及などを促します。
 - (12) ビジット・ジャパン(VJ)地方連携事業
 - (13) 海外青少年の教育旅行受入促進事業〈東京都受託事業〉
 - (14) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大
 - (ア) ニュースレターの発行
 - (イ) 各種セミナー・商談会等への参加
- #### 2 コンベンション誘致に関する事業
- (1) MICE 連携推進協議会の運営(新規)〈東京都補助金事業〉
 - (ア) MICE 連携推進協議会の設置
当財団が主体となり、様々な関係主体間における情報共有や課題整理を行うなど、ビジネスイベントの誘致・開催をより効果的に展開するための官民連携協議会を設置します。
 - (イ) MICE シンポジウムの開催

● コンベンション誘致速報 ●

当財団が誘致活動支援をしてきた以下の国際会議の誘致に成功しました。

アジア太平洋肝臓病学会シングルトリックカンファレンス東京

【会期】2019年4月予定

【参加予定者数】1,000名(うち海外参加者 500名)

【会場】京王プラザホテル

協議会の取組をビジネスイベント関係者に広く浸透させるとともに、都民に対する普及啓発を図るため、シンポジウムを開催します。

- (2) ビジネスイベントマーケティング調査・分析等業務（一部新規）〈東京都受託事業〉
 - (ア) 国際会議のマーケティング調査・分析
 - (イ) KPIによる効果測定
 - (ウ) 特定分野調査（新規）

セキュリティ対策や環境配慮への取組等について調査・分析し、ビジネスイベント参加者の安全・安心の確保やサステナビリティ対応の促進に関する必要な施策について検討します。
- (3) 国際会議誘致・開催支援事業（一部東京都受託・補助金事業）
 - (ア) 国際会議誘致支援
 - ① 誘致マーケティング活動
 - ② 誘致プロモーション活動
 - ③ 学術系国際会議誘致促進〈東京都補助金事業〉
 - (イ) 国際会議開催支援
 - ① 参加促進への支援活動〈東京都受託事業〉
 - ② 開催運営への支援活動
 - ③ 国際会議開催支援プログラム〈東京都受託事業〉
 - (ウ) 国際会議誘致・開催資金助成等事業（一部新規）〈東京都出資金事業〉
 - ① 国際会議誘致支援
 - ② 国際会議誘致・開催支援
 - ③ 国際会議等立上げ資金助成
 - ④ 立上げ型国際会議等開催資金助成
 - (エ) コンベンション統計事業
- (4) MICE 受入環境整備事業（新規）〈東京都出資金事業〉

都内受入施設の機能強化（高機能型 Wi-Fi、デジタルサイネージ、高解像度プロジェクター等の設置・導入等）に対して助成することにより、ビジネスイベントの更なる誘致促進を図ります。
- (5) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業（一部新規）〈一部東京都補助金事業〉
 - (ア) 海外トレードショーへの出展
 - (イ) 企業系ビジネスイベント誘致支援事業〈東京都補助金事業〉
 - (ウ) 企業系ビジネスイベント開催支援事業〈東京都補助金事業〉
 - (エ) 企業系ビジネスイベント開催支援メニュー開発〈東京都受託事業〉
- (6) 展示会・イベント誘致・開催支援事業（一部新規）
 - (ア) 展示会における海外参加促進支援（国際化支援）〈東京都補助金事業〉
 - (イ) イベント誘致・開催資金助成〈東京都出資金事業〉
 - ① イベント誘致資金助成
 - ② イベント開催資金助成・開催支援
 - ③ 国際イベント立上げ資金助成
 - ④ 立上げ型国際イベント開催資金助成
- (7) ビジネスイベント情報発信（一部新規）〈一部東京都補助金事業〉
 - (ア) コンベンション開催情報発信
 - (イ) 企業系ビジネスイベント販促ブックレットの作成〈東京都補助金事業〉
 - (ウ) 広告掲載によるPR強化〈東京都補助金事業〉
 - (エ) MICE ファムトリップ〈東京都補助金事業〉

- (オ) 海外ミーティングプランナーとのネットワーク構築〈東京都補助金事業〉
- (カ) 訪問営業（セールスコール・ロードショー）の実施〈東京都補助金事業〉
- (キ) ビジネスイベントプロモーション映像制作（新規）〈東京都補助金事業〉
- (ク) MICE 概要・事業紹介パンフレットの作成（新規）〈東京都補助金事業〉
- (ケ) MICE 拠点育成支援エリアPR事業（新規）〈東京都補助金事業〉
- (8) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築〈東京都補助金事業〉
- (9) ユニークベニュー利用促進事業〈東京都受託事業〉
 - (ア) ユニークベニュー利用促進プログラムの提供
 - (イ) ユニークベニューの施設等状況調査
- (10) ユニークベニュー受入環境に関する調査（新規）〈東京都受託事業〉

昨年度までに開発した12施設及び本年度に調査予定の施設に対して、ビジネスイベントの受入環境整備に必要な設備等を調査・分析し、今後の施策の方向性を提示します。

- (11) 都立施設におけるユニークベニュー利用促進事業（新規）〈東京都受託事業〉
 - (ア) 都立施設におけるユニークベニュー利用促進プログラムの提供
- (12) 多摩・島しょの観光資源を活用したビジネスイベント開催支援〈東京都受託事業〉
- (13) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業（一部新規）〈東京都出えん金事業〉
- (14) 多摩ビジネスイベント重点支援エリア支援事業（新規）〈東京都出えん金事業〉
- (15) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進（一部新規）〈東京都補助金事業〉
- (16) MICE 専門人材育成事業〈東京都負担金事業〉

3 地域の観光振興に関する事業

- (1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興〈一部東京都補助金事業〉
 - (ア) 地域振興助成〈東京都補助金事業〉
 - (イ) 東京トラベルマート、観光情報交換会の開催
 - (ウ) 観光団体等との連携
 - (エ) 観光資源商品化支援事業〈観光振興基金事業〉
- (2) 魅力を高める観光資源の開発
 - (ア) 地域資源発掘型実証プログラム事業（新規）〈東京都出資金事業〉

観光協会等から地域資源活用のアイデアを募集し、事業化のノウハウを持つ民間事業者に事業委託をすることによって、着地型旅行商品造成や特産品開発等を通じた地域への旅行者誘致を支援します。
 - (イ) 多摩・島しょ魅力発信事業〈東京都受託事業〉

多角的かつ集中的なプロモーションにより、多摩・島しょ地域へのさらなる誘客を図ります。

 - ① WEB等メディアと紙媒体による情報発信
 - ② 誘客促進イベントの実施
 - (ウ) 多摩・島しょ地域旅行商品造成・販売支援事業〈東京都出資金事業〉
 - ① 旅行商品の造成支援
 - ② 旅行商品の販売支援
 - (エ) 多摩・島しょ地域内観光交通支援事業〈東京都受託事業〉
 - (オ) 島しょ地域誘客促進事業（新規）〈東京都出資

金事業)

島しょ地域での宿泊や観光に利用できるプレミアム付旅行券を販売することで、島外旅行者の島しょ地域への送客及び現地での旅行消費増加を促進します。

- (カ) 島しょ地域を活用した縁結び観光プロジェクト(新規)〈東京都出資金事業〉
「婚活」やお見合いを目的とした、船舶で島しょ地域を観光する旅行商品の造成・販売を支援します。
 - (3) 観光まちづくりの支援事業の実施
 - (ア) 地域における観光まちづくりの支援〈東京都受託事業〉
 - ① 観光活性化フォーラムの開催
 - ② 学生インターン事業
 - ③ 観光人材育成支援事業
 - (イ) 水辺のにぎわい創出事業〈東京都出資金事業〉
 - (ウ) 春・秋のライトアップモデル助成(新規)〈東京都出資金事業〉
観光協会等が行う春や秋の自然などを活用したライトアップの事業を支援します。
 - (4) 東京ロケーションボックスの運営〈東京都受託事業〉
ロケ地や支援作品のメイキング映像等を配信するため、新規事業として動画サイトを開設します。
 - (5) 東京シティガイド検定の実施
 - (6) 被災地応援ツアーの実施〈東京都出資金事業〉
 - (7) 受入環境インフラの整備〈東京都出資金事業〉
 - (ア) 観光インフラ整備支援事業
 - ① 区市町村観光インフラ整備支援
 - ② 観光施設の国際化支援
 - (イ) 観光バス等バリアフリー化支援事業
 - (ウ) アクセシブル・ツーリズムの推進(新規)
障害者や高齢者等が積極的に外出して、様々な交通機関を快適に利用しながら旅行などを行うアクセシブル・ツーリズムの充実に向けて、観光事業者の接客スキルの向上のための従業員研修やマニュアル作成等の取組を支援します。
 - (エ) 宿泊施設のバリアフリー化支援事業(一部新規)
 - (オ) 宿泊施設における安全・安心向上事業(新規)
宿泊施設における防犯カメラの導入を支援し、安全・安心確保の取組を促進します。
 - (カ) 観光経営・インバウンド対応力強化事業(新規)
宿泊・飲食・小売事業者等に対し、経営の力を高めるための取組や、多言語対応やトイレの洋式化など外国人旅行者の受入環境の充実に向けた取組を支援します。
 - (キ) 東京ひとり歩きサイン計画
 - (ク) デジタルサイネージを活用した観光情報提供事業
 - (ケ) 外国人旅行者に対する Wi-Fi 利用環境整備事業
- #### 4 観光情報の発信に関する事業
- (1) 東京ブランドの推進事業〈東京都受託・負担金事業〉
 - (2) ウェブサイトによる情報発信(一部新規)〈東京都補助金事業〉
 - (3) SNSによる情報発信〈東京都補助金事業〉
 - (4) ウェルカムカードの製作(一部新規)〈東京都補助金事業〉
 - (5) 東京観光情報センター等の管理運営〈東京都受託事業〉

- (6) 広域観光案内拠点等の整備及び運営(一部新規)〈東京都出資金事業、一部受託事業〉
- (7) 観光ボランティアの管理運営〈東京都受託事業〉
- (8) おもてなし親善大使育成塾〈東京都受託事業〉
- (9) 東京マラソン応援観光マップの作成・臨時観光案内所の設置運営〈東京都受託事業〉
- (10) 東京マラソン祭りフォトコンテストの実施
- (11) 多言語メニュー作成支援ウェブサイトの運営〈東京都受託事業〉
- (12) TCVB 活動の広報に関する事業

5 会報発行事業

- (1) 会報等の発行
 - (ア) 会報「TCVB NEWS」の発行(年4回)
 - (イ) 「TCVB メール速報」の配信(週2回程度)

◆予算 総額 7,648百万円

予算の執行管理には十分留意し、引き続き財政運営の健全化に努めます。

平成29年4月1日付 幹部人事のお知らせ

幹部人事異動

常務理事(総務部長)	武田 康弘
総務部次長兼総務課長	松坂 好浩
地域振興部次長兼事業課長	河野 浩邦
地域振興部次長兼経営支援担当課長	水谷 幸宏
観光事業部次長兼観光事業課長	田所 明人

CG 分野世界最大規模会議のアジア版、東京初誘致に成功!

シーグラフアジア2018(SIGGRAPH Asia 2018)の東京開催が決定しました。当財団は、コンピューターグラフィクス分野の企業や研究者の高度な集積、東京国際フォーラムのアクセスの良さ、東京の観光魅力等を訴えることにより誘致に成功しました。国際本部を招致したサイトビジットでは会場や宿泊施設等の視察、複数スポンサーとの会合を実施しました。国内主催者、東京都、JNTO、東京商工会議所、東京国際フォーラム、スポンサー企業、当財団によるオール東京の誘致体制が、今回の誘致成功の要因といえます。

当財団では、開催資金助成や開催支援プログラムの提供等を通じ、今後も国際会議の誘致に積極的に取り組んでいきます。

【会議概要】

名称：シーグラフアジア2018(SIGGRAPH Asia 2018)
会期：2018年12月4日～7日
会場：東京国際フォーラム
参加者数：約7,000名(うち海外より1,800名)
(コンベンション事業部)

アジアロードショー(訪問営業)の実施

報奨旅行等(MI)の誘致に向けた営業を目的とし、2月に当財団が主幹となって都内のMICE関連事業者(8社26名)と共に、アジアでの訪問営業を実施しました。バンコク、クアラルンプール、シンガポール各地で、開催地の決定に影響力を持つ現地ミーティングプランナー(12社15名程度)と固定マッチングによる個別商談及びネットワークワーキングを実施しました。現地プランナーからは「一



度に効率良く、多くの都内 MICE 関係者に会えて良かった」、都内関連事業者からは「具体的な案件の相談、見積り依頼があった」等の前向きなコメントを頂き、成功に終わりました。なお、29年度は欧州（詳細未定）への訪問営業を予定しております。（コンベンション事業部）

ユニークベニューの魅力を紹介したパンフレットを発行

東京都は、東京ならではの魅力を体験できるユニークベニューの紹介パンフレットを2種類作成しました。東京都が新たに開放する浜離宮恩賜庭園や東京都美術館等8施設を掲載した都立施設版、及び財団が開発に取り組んだ14施設を掲載したその他の施設版となります。ビジネスイベントにおけるユニークベニュー利用の期待が高まる中、財団では、利用促進につながるハンズオン支援にも力を入れていきたいと考えています。

パンフレットは、ウェブ上でも閲覧できます。

<http://businesseventstokyo.org/ja/tokyo-unique-venues-brochures/>
（コンベンション事業部）



平成29年度 MICE 誘致・開催支援事業 募集開始

当財団では今年度、東京での MICE 開催決定を強力に支援するため、以下の支援事業を募集しています。

- 1 立上げ型国際会議等の準備・開催支援（新規）
東京で新たに国際会議や国際イベントの立上げを目指す主催団体に、準備活動や開催資金に係る助成、会議開催時における都内観光ツアー等の支援プログラムを提供
 - 2 報奨旅行等誘致・開催支援（支援対象範囲拡大）
対象旅行等の延べ泊数下限を400泊から200泊に引き下げ
 - 3 国際会議誘致・開催支援
 - 4 展示会国際化支援
 - 5 国際イベント誘致・開催支援
- 各事業に関する詳細は、当財団ウェブサイト「BUSINESS EVENTS TOKYO」内「TCVBのサービス」をご参照ください。（コンベンション事業部）

MICE 各種支援事業 募集開始

当財団では、以下の支援対象事業者を募集しています。

- 1 MICE 施設の受入環境整備支援事業（新規）
都内の MICE の会場となる施設の機能強化を目指し、施設の受入環境整備を支援。

2 MICE 拠点育成支援事業

地域が連携して MICE 関連施設の集積を生かし、エリア内での受入環境整備に取り組む団体等を「東京ビジネスイベント先進エリア」、多摩地域で同様に取り組む団体等を「多摩ビジネスイベント重点支援エリア」（新規）として指定し、重点的に支援。

3 ユニークベニュー会場利用支援事業（新規）

MICE 開催都市東京の魅力を発信する MICE 等イベントに対し、ユニークベニューの会場利用によって生ずる会場設営経費の一部を支援。

各事業に関する詳細は、当財団ウェブサイト内「ビジネスイベント誘致に関する事業」をご参照ください。（コンベンション事業部）

DMO 東京丸の内が発足

大手町・丸の内・有楽町（大丸有）地区の MICE 関連の受入施設と連携し、地域一帯の MICE 誘致推進を図る団体として、DMO 東京丸の内が発足しました。今後は、地区内の連携を生かし、大丸有地区でしかできない MICE の舞台を提供するとともに、地区内の情報を国内外に向けて発信していく予定です。詳細は <http://tokyo-marunouchi.jp/> をご覧ください。（コンベンション事業部）

MICE ファムトリップを実施

当財団では1月から3月にかけて、海外からミーティングプランナー（MP）、国際学会本部、コア PCO を招聘したファムトリップを全8回実施しました。

北米から招聘した MP ファムトリップでは、都内関連事業者とのネットワーキングの機会を設け、イベント手配等に携わる都内賛助会員にも多数ご参加頂き、双方にとって有益な場となったとのご意見を頂きました。

国際会議については、カナダやマレーシアよりコア PCO 3社、英国や豪州に本部のある国際学会3者を招聘し、都内会議施設やホテル、観光施設等を案内することで、具体的な会議開催のイメージを高めて頂きました。

当財団では、今年度も同様の招聘事業を予定しており、ビジネスイベント・デスティネーションとしての東京を PR していきます。（コンベンション事業部）

平成29年度「MICE グローバル人材育成講座」開催

当財団は、昨年度に引き続き「MICE グローバル人材育成講座」を実施します。MICE 業界の第一線で活躍されている国内外の講師陣による実例を交えた講義を予定しています。参加は事前申込み制（有料）、詳細は当財団ウェブサイトをご覧ください（6月中旬頃発表予定）。

（コンベンション事業部）

インドにおいて東京観光プロモーションを実施

平成27年度のフィリピンに引き続き、平成28年度は訪日外国人旅行者数の更なる増加が期待できるインドにおいて、東京観光の更なる魅力を伝えるべく、東京観光プロモーションを実施しました（1月30日、31日）。

ニューデリーで開催し、都内及び千葉県内の観光事業

者15団体37名と共に、現地メディアや現地旅行会社に向けた観光セミナーや商談会を行いました。メディアを対象としたセミナーは計31名、午前・午後の2回に分けて実施した



現地旅行会社向けの観光セミナー・分科会・商談会へは計85名の方にご参加頂き、大盛況でした。メディア向けセミナー終了後には、多数のメディアが個別の質問／取材を希望し、多くのメディアに取り上げられるなど、東京観光に対する関心の高さが窺われました。また、都内／千葉県内から参加頂いた事業者の方からは、単独でのセールス活動は少々ハードルの高いインドにおいて、同プロモーションが実施されたことは大変有り難かった、とのお言葉も頂戴しました。

今年度はロシア（モスクワ）での実施を予定しています。
(観光事業部)

欧州と東南アジアの旅行博に出展

欧州では、1月18日～22日に、スペイン・マドリードで開催された旅行博「Feria Internacional de Turismo Madrid (FITUR) 2017」に、また3月8日～12日にはドイツ・ベルリンで開催された旅行博「Internationale Tourismus Borse Berlin (ITB Berlin) 2017」に出展しました。写真やモニターで魅力的な東京の画像や映像を多く紹介し、東京ブースには、FITURで約10,000人、ITBで約4,500人が来場し、それぞれ共同出展事業者とともに、現地旅行会社やメディア、また一般参加者に対して、東京の魅力を発信、PRを行いました。平成28年度は、11月ロンドンでのWTMと合わせ、2回目の欧州を代表する3つの旅行博へ東京単独ブース出展となりましたが、業界関係者、一般参加者双方において、観光都市・東京への高い期待が以前にも増して感じられる旅行博となりました。

また東南アジアでは、2月10日～12日に、フィリピン・マニラにおいて開催された「Travel Tour Expo (TTE) 2017」に、2月15日～19日にタイ・バンコクにおいて開催された「Thai International Travel Fair (TITF) #20」に、そして3月17日～19日にマレーシア・クアラルンプールにおいて開催された「MATTA FAIR Kuala Lumpur 2017」に東京ブースを出展しました。マニラでは床面と



背面パネルのデザインを活かしたトリックフォト、タイとマレーシアでは、東京の観光スポットをちりばめた背景パネル前で記念撮影ができるアトラクションを実施し、多くの来場者の関心を集めていました。

旅行博出展後には、現地旅行会社及びメディアを対象とした東京観光セミナーを各都市中心部のホテルで開催し、東京の最新情報等、訪都旅行商品の造成・販売に資する情報の提供を行いました。各都市とも40名以

上のセミナーへの参加があり、東京観光に対する関心の高さが伺えました。
(観光事業部)

TCVB ミーティングを開催

観光事業部では、2月7日に第10回TCVBミーティングを上野・いいオフィスにて開催しました。米国Travel and Leisure誌の編集長であるNathan Lump氏に米国における富裕層の特性と旅行の傾向について、「Experience Collectors（現地でする体験によって目的地を決める）」、「Portable Lifestyle（旅行先でも仕事を持ち込みプライベートとの境が曖昧に）」などのトレンドなどを中心に講演頂きました。現地の活きた意見が聞けるということもあり「記事にしてもらうにはどうしたらいいか」など、参加者からの具体的な質問も尽きませんでした。



また3月8日には第12回TCVBミーティング（アジアセールス・ミーティング③）を浜松町の世界貿易センタービルで開催し、「アジア人目線、様々な業界に通じるホテルにおける顧客満足度のトレンド」について(株)ジェイ・ディー・パワー アジア・パシフィックサービス&エマージングの沼波様に講演頂いたほか、「アジアトラベルライターによる東京あれこれ」を(株)MATCHAのカオ様、ミホ様と座談会形式で行い、「六歌仙流 インバウンドの心得」をやきにく亭六歌仙の儀見様に講演頂きました。また最後には特別企画として「立教大学学生企画ツアー報告会」を立教大学留学生有志一同から行って頂くなど大変バラエティに富んだ会となりました。
(観光事業部)

外国人旅行者等の誘致に向けたポータルサイト Tourism of ALL JAPAN & TOKYO の開設

東京都では、日本各地と連携して、双方の強みを活かし、双方に高い効果が見込まれる産業振興施策を「ALL JAPAN & TOKYOプロジェクト」として実施しています。そのプロジェクトの一環として、東京を訪れた外国



人個人旅行者が気軽に日本各地を訪れるよう、東京と日本各地の魅力的な観光資源を海外に向けて広く発信するポータルサイトを開設しました（日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語の5言語対応）。東京と日本各地を結ぶ観光ルートや海外メディア等による体験記、日本各地の祭りや都内にある各自治体アンテナショップを紹介しています。

- ・サイト名：Tourism of ALL JAPAN & TOKYO
- ・URL：<http://www.tourism-alljapanandtokyo.org/>
(観光事業部)

「観光活性化フォーラム TOKYO2017」の開催



2月7日、ステーションコンファレンス東京にて「観光活性化フォーラム TOKYO2017」を実施しました。

このフォーラムは、地域の観光振興の参考として頂くため、区市町村や観光

協会、旅行事業者やメディア等の観光事業関係者を幅広く集め、2部構成で行ったものです。

第1部は講演形式で行い、パッケンマクンによる基調講演「日本人が気付かない地域の魅力」、及び都事業活用事例の紹介として、地域資源発掘型実証プログラム事業を活用した「東京クルーサイクル事業」、観光まちづくりアドバイザー派遣事業を活用した「式根島観光協会10年観光まちづくり事業計画」について講演頂きました。

第2部では観光情報交換会と東京観光まちづくりアドバイザーによる個別相談会を実施し、観光情報交換会では、観光関連団体33団体がブースを出展し、旅行会社やメディア等の方々との情報交換を行いました。東京観光まちづくりアドバイザー個別相談会では、観光協会の運営体制等についてのアドバイスを求める姿が見受けられました。

参加者からは、「実際の取組事例を聞いて良かった」、「各団体の様々な情報を得ることが出来た」等の感想が寄せられました。(地域振興部)

「観光人材育成研修会」の開催



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催やその先を見据え、地域において観光振興をリード・コーディネートしていく人材の育成等を目的とし、観光人材育

成支援事業を平成28年度より開始しました。平成28年度は、全9回の日程で都内観光協会向けに各種研修を実施し、延べ85人の方に参加頂いています。

研修は、観光協会が抱える共通課題の解決に資する「全体研修」、特定の課題について研修事務局から提案する「提案型研修」、観光協会からの要望に基づく「オーダーメイド研修」の3種類の形式で開催しました。

研修テーマの設定については、研修に先立ち「ニーズ調査」を実施し、その結果に基づき設定しています。具体的には、「観光まちづくりの基本」から「観光商品化のポイント」、「スマホ・SNSの効果的な活用」、「まち歩きで体感する地域の新たな魅力」といったもので、幅広い内容での研修となりました。

参加者からも総じて高い評価を得られ、次年度の開催を望む声を多く頂いております。(地域振興部)

旅まつり名古屋2017出展報告

当財団は3月18日・19日の2日間、名古屋市中区久屋大通公園にて開催された「第29回旅まつり名古屋2017」で、東京の観光PRブースの出展をしました。東京都内の区市町村、観光協会及び観光・交通関連事業者から提供された観光パンフレット、ノベルティ等を来場者へ配布しました。来場者からは浅草・上野・皇居・東京スカイツリーといった定番の観光地の問い合わせや、谷根千エリアや高尾山・青梅の多摩エリアといった下町情緒・自然景観を味わうことができる観光地も高い関心を集めていました。また隣接して伊豆諸島から小笠原諸島まで東京諸島11島が連携してブースを出展し、観光パンフレット等の配布・特産品販売・参加型イベントなどを実施し、各島の魅力をPRしました。今後も当財団はイベントへの出展を通して東京の魅力を発信していきます。(地域振興部)



平成28年度地域振興助成事業の実施報告

当財団は都内の観光協会等が旅行者の増加を図るために実施する案件について、本事業で必要経費の一部を助成しています。この度以下19件の支援を実施しましたのでご報告いたします。

(支援案件一覧)

- 青梅市観光協会・御岳山観光協会・御岳観光協会(共同事業)／御嶽山・御岳溪谷3か国語(英・中・韓)パンフレット作成事業
- 青梅市観光協会／青梅市観光協会ホームページスマートフォン対応事業
- 上野観光協会／国立西洋美術館世界文化遺産登録記念上野建築アプリと臨時案内所
- 江東区観光協会／ツーリズム EXPO ジャパン2016出展事業
- 大田区観光協会／第4回蒲田映画祭
- 国立市観光まちづくり協会／くになち・フォトコンテスト～よそ者・若者による隠れた町の観光資源を掘り起こそう！
- 大多摩観光連盟／ふるさと祭り東京2017出展事業
- 府中観光協会／ふるさと祭り東京2017出展事業
- 瑞穂町商工会／ふるさと祭り東京2017出展事業
- 神津島観光協会／天上山を巡る写真を使ったオリエンテーリング
- 狛江市観光協会／狛江市観光写真コンクール
- 式根島観光協会／式根島ゆるキャラ制作
- 中央区観光協会／東京マラソン EXPO2017
- 町田観光コンベンション協会／町田駅周辺飲食店マップ制作事業
- 世田谷まちなか観光交流協会／世田谷区の魅力を集約して紹介する観光情報誌の制作
- 渋谷区観光協会／PLAY! DIVERSITY SHIBUYA 来街者回遊促進アプリ開発事業
- 新宿区観光振興協会／「SHINJUKU 9 Stories」によるプロモーション活動

- 中野区観光協会／インバウンド対応事業
- 東京諸島観光連盟／旅まつり名古屋2017出展事業
(地域振興部)

ため両県の観光案内等のパンフレット提供も行いました。設置期間を通して好天に恵まれ、外国人を含む多くの来場者でにぎわいました。(東京観光情報センター)

東京ブランド推進プロジェクトを実施しました！

当財団では東京都と連携し、旅行地としての東京を強く印象づける「東京ブランド」の確立に向けた取組を行っています。取組の一環である民間事業者と連携



した「東京ブランド推進プロジェクト」を実施しました。

- ①「Welcome To Ikebukuro & Tokyo」、代表者：池袋インバウンド推進協力会
- ②「&TOKYO meets TOKYO GIRLS COLLECTION」、代表者：株式会社ディー・エル・イー
- ③「だい好き！東京 &TOKYO」絵画・作文コンクールプロジェクト、代表者：株式会社朝日新聞社

TOKYO GIRLS COLLECTION では、人気モデルたちによるステージで東京ブランドの5つの価値を表現したファッションショーを実施。会場内に「& TOKYO」ブースも出展しました。「& TOKYO」オブジェと写真撮影が楽しめるフォトスポットでは写真撮影を待つ列が続き、約31,400人の来場者に向けて、東京ブランドをアピールしました。

東京ブランド推進プロジェクトの全9プロジェクトを通じ、子供から大人まで多くの方々に「& TOKYO」ロゴや東京ブランドをアピールすることができました。

各プロジェクトの詳細は東京ブランド公式サイト (<https://andtokyo.jp/>) をご覧ください。

今後も東京ブランド推進に向けた取組を実施していきます。
(観光情報課)



「東京マラソン EXPO2017」、「東京マラソン祭り2017」に東京都観光案内所を設置しました

2017年2月23日～25日に「東京マラソン EXPO2017」(東京ビッグサイト)、2月26日に「東京マラソン祭り2017」(江戸東京博物館3階特設お祭り広場)にて、東京都観光案内所を設置しました。案内所では、スタッフ及びおもてなし東京(東京観光ボランティア)による都内観光パンフレットや東京マラソン2017みどころマップ、東京ハンディガイド・マップの提供を行いました。また、熊本県・大分県の震災復興支援の



平成28年度「交流の集い」盛況にて開催



2月21日に賛助会員相互の交流を目的とした会員情報交換会「交流の集い」を都市センターホテルにて開催し、およそ200名の会員様に参加いただきました。講演会では、日本政策投資銀行企業

金融第6部部长 木村 顕氏をお招きし、「2020年オリンピック・パラリンピック開催後を見据えて一ホテル需給と交通インフラ」と題しご講演を頂きました。

懇親会では「会員間商談会」を開催し、会員様同士の相互交流の場としてご活用頂き会を盛り上げました。

役員人事及び会計監査人設置のお知らせ

平成29年3月29日付で評議員を選任

- 選任** 星野 裕二 (アサヒビール株式会社 法人営業本部法人営業第二部 次長)
- 辞任** (平成29年1月31日付)
近藤慶一郎 (アサヒビール株式会社 市場開発本部法人営業第二部 部長)
- 任期** 平成30年度に関する定時評議員会の終結の時まで
- 理由** 評議員の辞任に伴う新たな評議員の選任

平成29年3月29日付で理事を選任

- 選任** 黒田 英朗 (東日本旅客鉄道株式会社 総合企画本部観光戦略室室長)
- 辞任** (平成29年1月31日付)
澤田 博之 (東日本旅客鉄道株式会社 総合企画本部観光戦略室前室長)
- 任期** 平成28年度に関する定時評議員会の終結の時まで
- 理由** 理事の辞任に伴う新たな理事の選任

平成29年4月1日付で会計監査人を設置

- 選任** 網谷 多加子 (網谷公認会計士事務所 会計監査人)
- 任期** 定款第26条第5項の規定に基づき、平成29年4月1日から平成29年度に関する定時評議員会の終結の時までとする。なお、任期満了時の定時評議員会において、別段の決議がされなかったときは、当該定時評議員会で再任されたものとみなす。
- 理由** 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第12号により、新たに選任する必要が生じたため。

新 会 員 紹 介

<p>商店街振興組合原宿表参道櫛会 http://omotesando.or.jp 事業内容: 当会は表参道と神宮前交差点両側の明治通り沿いを区域とする商店街で加盟店は約600店舗です。表参道は明治神宮へと続く約1kmの参道で、通りの両側には163本の櫻が植えられています。お客様は豊かな緑に囲まれてゆったりとした気持ちでお買い物を楽しんで頂けます。</p>
<p>アスノシステム株式会社 http://www.asno-sys.co.jp 事業内容: 当社は、ソフトウェア開発、アウトソーシング、ERPパッケージ販売・保守、Web インテグレーション、Web サービスを行っているIT企業です。 今回主に東京観光財団に参画するのはWebサービスのチームで、こちらでは貸会場、ホール、展示場の国内最大級のポータルサイト「会議室.COM (http://www.kaigishitu.com)」を運営しています。 今後、イベント企画者と会場を結び懸け橋となるべくさらにサービスを充実させていく予定です。</p>
<p>富士通株式会社 http://www.fujitsu.com/jp 事業内容: ICTに関する各種サービスとそれを支える高品質な製品の開発、製造、販売から運用保守までをトータルで提供するソリューションビジネスを展開。中でも観光分野においては、多言語対応のデジタルサイネージ及びガイドアプリや通訳サービスを提供し、地方自治体等お客様のインバウンド対応に貢献。</p>
<p>アソビシステム株式会社 http://asobisystem.com 事業内容: プームを作ることも、カルチャーを創る。今の時代に発信すべき「アソビ」をもっと。 ASOBISYSTEMは、日本独自の文化である“HARAJUKU CULTURE”に焦点をあて、ファッション・音楽・ライフスタイルといった、原宿の街が生み出すコンテンツをサポートして成長させ、国内はもとより、世界に向けて発信するための活動をしています。</p>
<p>株式会社シェアウィング http://oterastay.com 事業内容: お寺ステイは社寺での日本文化体験をつうじて『セルフクレンズ』の場づくりを行っています。「ロングステイ」では社寺で泊まるという体験を、「ショートステイ」ではお寺で体験できる多様な日本文化体験の場を提供いたします。</p>
<p>スパリゾートプレジデント(株式会社BIE) https://spa-resort-president.jimdo.com/ 事業内容: 御徒町駅から徒歩1分以内の温浴兼宿泊施設。上野松坂屋の隣でアメ横など都内観光名所へのアクセスに便利。ビジネス、観光、近隣にお住まいのお客様も来店される程お手頃価格なサービスを提供しております。</p>
<p>京王観光株式会社 http://www.kingtour.com/ 事業内容: 東京都が力を入れている多摩エリアには、多くの弊社店舗がございます。今後、磨きかけた着地型ツアーの造成・交通網をいかした地域活性化の貢献やスポーツ団体も巻き込んだ京王線沿線等でのイベントの仕掛け等、京王グループだから出来る事を売りに、東京都の観光振興のお役に立ちたいと思っております。お気軽にお問い合わせください。</p>
<p>株式会社アカツキ http://aktsk.jp 事業内容: アカツキは、モバイルゲーム事業部とライブエクスペリエンス事業部の2つがあり、スマホ向けのエンターテイメントゲーム事業とお出かけ専用の遊び検索サイトを運営しています。</p>
<p>株式会社 TOKYO LUXEY http://www.tokyoluxey.com/ 事業内容: 欧米豪&アジアの富裕層市場向けインバウンド施策を提供しています。ラグジュアリー・トラベルに特化型リサーチ&マーケティング、特に富裕層女性層向けインフルエンサー・マーケティングを得意としています。</p>
<p>小林クリエイティブ株式会社 http://k-cr.jp 事業内容: インバウンド向け情報サービス「音声コード Uni-Voice」を提供しています。文字情報の入った二次元コードを専用アプリで読み取ると、テキスト表示と音声読み上げで内容を伝えます。「オフラインでも利用可能」なため、Wi-Fi環境のない観光地や施設内でも場所を選ばずご利用いただけます。</p>

<p>合同会社アニマート・ミュージックアーツ http://animato-musicarts.net 事業内容: 国際会議・学会での大規模パーティでの演奏家派遣を始め、音楽家出演の機会、コンサート等を企画、マネジメントしています。映像、音楽制作他、イベント時の作品出展、制作も行っております。五感を満喫する情報サイト「横浜 Viaggio」運営、2017年秋には、食と空間「美味しくなあれ」サイトをスタートする予定です。</p>
<p>株式会社ヴァリューズ http://www.valuesccg.com/ 事業内容: 上場企業200社以上をクライアントに市場調査、成長支援を行っている純日本発ベンチャー企業です。 日本人20万人、中国人50万人のインターネット行動ログデータを基に、観光客のニーズや情報収集行動を捉えたマーケティング戦略をお手伝いします。</p>
<p>ワタミ株式会社 http://www.watami.co.jp/ 事業内容: 全国の「和民」などグループ店舗では、訪日団体旅行だけでなく、国内各種団体旅行と様々な用途に合わせて食事手配を承っております。専任の手配担当を配置、24時間以内に対応。各種食事制限にも柔軟に対応致します。</p>
<p>株式会社太鼓センター http://www.taiko-center.co.jp/ 事業内容: ・和太鼓スクール TAIKO-LAB 運営、出張指導、作曲振付、特別講習会の開催など(太鼓センターの指導スタッフ、和太鼓チーム“無限”メンバー、遊坐楽座(ゆうざらくざ)、各地保存会、専門家が指導) ・出版・販売・商品開発 ・和太鼓スクールフランチャイズ事業 ・演奏公演(日本全国どこへでも直接太鼓の演奏・公演に伺います)</p>
<p>株式会社 Sunborn http://sunborn.co.jp 事業内容: システム開発全般から、オリジナルコンテンツの制作まで幅広く展開。運営するメディア「マチビト (https://machibito.co/)」では、日本の魅力を世界に向けて発信。映像・出版・Webの各分野を横断しながらクリエイトを続けています。</p>
<p>株式会社イトヨーカ堂 http://itoyokado.co.jp 事業内容: 地域のお客様に、毎日新しいお買い物体験をお届けいたします。イトヨーカドーは、従来の総合スーパーのスタイルにとらわれず、セブンプレミアムをはじめとした自主開発商品の充実、多彩な品揃え、高い接客サービスを通じ、お客様のライフスタイルやニーズにお応えしてまいります。 「製品安全対策ゴールド企業」にも認定されており、品質の良い商品の提供、心をこめた接客サービスでお客様のお買物のお役に立ち出来るよう全力を挙げて取り組んでまいります。</p>
<p>株式会社共同テレビジョン http://www.kyodo-tv.co.jp/ 事業内容: 共同テレビジョンは、ドラマやバラエティーなどのテレビ番組、映画、Webやモバイルコンテンツ、DVD企画制作、企業・官公庁などの動画、CMの企画制作など幅広い分野で活動。常時50班可能なENG取材、中継車、編集・MAのポストプロダクション機能も合わせ持つ総合制作会社です。</p>
<p>上島珈琲貿易株式会社 http://www.muccoffee.jp 事業内容: 昭和七年創業老舗のコーヒーロースター。珈琲・食品製造・卸し及びケータリングサービス事業を展開。珈琲、ジュース等の飲み物から食べ物までカフェで提供できるものは全てご用意可能。学会やイベント、展示会等で本格的なカフェースを提供。</p>

【発行元】

公益財団法人 東京観光財団
 〒162-0801 東京都新宿区山吹町346番地6 日新ビル
 TEL: 03-5579-2680 FAX: 03-5579-2685
www.tcvb.or.jp E-mail: tcvbinfo@tcvb.or.jp

<p>■本会報に関するお問合せ先</p>	<p>総務部観光情報課 : TEL 03-5579-2681</p>
<p>■会報送付の追加、停止、送付先変更の連絡</p>	<p>memberinfo@tcvb.or.jp</p>